科目ナンバリング							
授業科目名 <英訳>	中国古典講読論A Readings in the Chinese Classics A			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　道坂　昭廣		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	芸術・文学・言語(各論)	使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・前期	曜時限	火1	配当学年	全回生	対象学生	全学向

（総合人間学部の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

中国古典世界の文学者や知識人たちの逸話を読む。（『太平広記』選読）
高校までの漢文と異なる観点から中国古典文を読解してゆく。読解を通して、日本にも影響を与えた中国古典世界の教養や価値観、考え方を紹介してゆく。

[到達目標]

中国古典世界を支えた、知識人及び民衆の発想や表現を理解することが出来るようになる。読解を通して、東アジア世界の根底にある中国的教養が理解できるようになる。
中国古典文について、高度な読解力が身につく。

[授業計画と内容]

　中国古典世界において、文学の担い手は知識人の集団であった。彼らは優れた才能の持ち主たちであった。しかし、一方で極めて人間的な逸話も残している。それらを読んでゆくことにより、中国古典世界をより親しみやすいものにしたい。高校までの漢文の授業のように、読解だけを目的とするのではなく、読解を通して、広く中国古典文化を紹介することを目的とする。宋代に編集された『太平広記』は全500巻で、テーマ別に前代の知識人の逸話を纏めている。
　比較的名前が知られている人物、例えば＜驍勇＞篇の趙雲や、＜文章＞篇の王維などの逸話、また唐代伝奇中のキュウ髯伝（＜豪侠＞篇）などを、選読する。
　上記のような内容の話が纏められている＜驍勇＞篇＜文章＞篇＜豪侠＞篇の中から、あまり長くなく、かつ比較的親しみやすい文章を選び、それぞれ五回前後の授業で順に読んでゆく。

[履修要件]

後半（中国古典講読論Ｂ）の連続履修を推奨する

[成績評価の方法・観点]

原則として平常点（20%）と定期試験（80%）で評価する。
平常点は、授業における発言。定期試験は筆記試験を行う。

[教科書]

プリント配布

[参考書等]

（参考書）
漢和辞典は必携。

中国古典講読論A(2)へ続く↓↓↓

中国古典講読論Ａ(2)

[授業外学修（予習・復習）等]

必ず、辞書を用いて、課題文について大まかな意味を把握しておくこと。
有名な逸話が多いので、授業で読解ののち、日中の物語などに影響がないか調査すること。

[その他（オフィスアワー等）]

必ず予習してくること。

[主要授業科目（学部・学科名）]